

《共通基礎科目 教養教育科目》

| | | | | | |
|-------|----------|-------|----------|----------|-------|
| 科目名 | 現代社会の倫理学 | | | | |
| 担当者氏名 | 中村 清一 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択必修 | 開講年次・開講期 | 4年・春期 |

《授業の概要》

現代社会では、好きなことをして自由に生きるという生活観、人生観が多くの人の心を捉えている。たしかに人間は自由な存在である。しかし人間が無限定に自由を求めるならば社会は成立し得ない。そこに人間には倫理という、共通して守らなければならない規範が必要とされるのである。本講義では、原理的な倫理問題を、模擬的な事例や日常的な事例を援用しながら授業を行う。

《授業の到達目標》

現実生活では公的、私的を問わず、決定的な瞬間に「あれか、これか」の選択を迫られる場面がある。そのときに、自身の人間と社会を考えあわせて総合的な視点から判断することが必要である。倫理学はその意味で、生きている人間をベースにしつつ社会のことを考え併せて人間らしい判断とは何かを考える総合的な学問なのである。自分自身で考え決断し、行動することが大切だということをこの講義を通じて体得して欲しい。

《成績評価の方法》

講義中の意見発表や授業参加態度（10%）、レポート（30%）、テスト（60%）などで総合的に評価する。

《テキスト》

必要なプリントを配布する。

《参考図書》

その都度、講義の中で指示する。

《授業時間外学習》

個人発表や討議、ディベート等をおこなうので、課題や事前の調べを自宅で行っておくこと。

《備考》

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容など |
|----|----------------------|---------------------------------------|
| 1 | はじめに | 現代社会で人々の意見が分かれる問題について |
| 2 | 実生活で倫理的判断を迫られる場面(1) | 携帯電話を例にとって考える |
| 3 | 実生活で倫理的判断を迫られる場面(2) | 上記に関しての意見発表と討議 |
| 4 | 自分より他者を優先する考え方(1) | 旅行中に遭遇した少女の事例によって考える |
| 5 | 自分より他者を優先する考え方(2) | 上記に関しての意見発表と討議 |
| 6 | 自分をコントロールすること(1) | 飲酒を例にとって考える |
| 7 | 自分をコントロールすること(2) | 上記に関しての意見発表と討議 |
| 8 | 人の役に立つこと(1) | 技術や能力を持つ人と持たない人の評価について考える。 DVD資料視聴 |
| 9 | 人の役に立つこと(2) | 上記に関しての意見発表と討議 |
| 10 | 仕事をするこの意味を考える | 事例演習と意見発表 |
| 11 | 動物の命と人間の命・文化の違い・を考える | 事例演習と意見発表 |
| 12 | 積極的生き方について考える | 事例演習と意見発表 |
| 13 | ディベート(1) | がん告知を考える |
| 14 | ディベート(2) | 思いやりは倫理の原則として有効か |
| 15 | まとめ | 社会の中で、人間らしい判断により、自分らしく生きることとは |